

さいがいからまちを守るために

4年社会 9月～10月 36Q〈12時間〉
 附属新潟小学校 教諭 八幡 昌樹

1 目指す姿

- 地域社会の一員として火災に対して協力できることを考える子ども

(1) **中核的な知識や技能**：地域社会の火災に対する取組と自分の生活とのかかわりについての認識
 「消防署や消防団の人たちは、火事から地域を守りたいと思って取り組んでいる。自分も同じように火事から地域の安全を守るために、火事を起こさないようにしたい」

(2) 学びをつなぐ力

- ① 関係付けるすべを用いて、地域社会の火事に対する取組と自分の生活とのかかわりについて考えるために必要な情報を収集する力
- ② 関係付けるすべを用いて、既存の知識と収集した情報を総合して、地域社会の火事に対する取組と自分の生活とのかかわりについて考える力

2 単元の計画

	【学習活動】☆つなぐ力	【働き掛け】	Q
一 次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実際に発生した火事の写真から、学習問題を設定する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 火事になると、家が燃えてしまうから恐ろしい。 <p>◎ 火事が起きた後、誰がどんなことをするのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 火事に対する消防署の働きについて調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防署では消火活動をしたり消火の訓練をしたりしている。24時間交代で働いて、火事に備えている。 ○ 火事が発生した時の消防と諸機関が協力して火事へ対処する仕組みの工夫を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通事故の警察署と同じように、たくさんの人が協力することで、素速く安全に火事への対応できる。 ○ 消防署を見学して、火事から安全を守るための工夫や努力を調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 服を早く着替えて急いで出動している。 ・ 20kgもある道具を担いでいる。 ○ 学習問題の結論を考える。 <p>○ 消防署を中心に、火事にかかわるたくさんの人が協力して、消火や救助をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 火事で家が燃えている写真を提示する。 ◆ 写真を見て疑問に思ったことを問う。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 消防署で働く人の1日のスケジュールを提示する。 ◆ 「Xチャート」を提示して、消防署の仕事を分類させる。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 火事が発生したときに、様々な関係機関が連携している様子を表した図を提示する。 ◆ 交通事故が発生したときと比較させ、共通点を問う。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 新潟中央消防署を見学させ、見たことや聞いたことを記録させる。 ◆ 消防署で働く人にインタビューさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 学習問題の結論を問う。 ◆ 学習問題が解決した後に、振り返りを書かせる。 	15 Q 5 時間
二 次	<p>◎ 身の回りの火事の備えには、どんな工夫があるのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の中に消火器があるし、町の中には消火栓がある。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の消防設備を調べ、火事を防ぐための備えを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の中には消火器などの火事から安全を防ぐためのものがあって、火事をすぐに消せる。 ○ 学校周辺の消防設備を調べ、火事を防ぐための備えを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 消防署の仕事を振り返らせ、消火以外の活動を問う。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 学校に設置されている消防設備について、グループで校舎内を調べさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域に設置されている消防設備について、学校周辺を調べさせる。 	15 Q 5 時間

	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の周りにも、消火栓などの火事を防ぐためのものがある、火事をすぐに消せる。 ○ 消防団の働きを調べ、火事を防ぐための地域の人々の取組を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・消防団は、地域の人、身近な人、新潟市の人たちの命を守る。火を消すため、消防署を助けている。 ○ 学習問題の結論を考える。 <p>○ 学校や学校のまわりなど、身の回りには火事が起きてもすぐに消せる備えがある。消防団の人も火事に備えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 消防団の器具置場で、消防団で活動している方に出会わせる。 ◆ 消防団の方にインタビューさせる。 ◆ 学習問題の結論を問う。 ◆ 学習問題が解決した後に、振り返りを書かせる。 	
三 次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消防署と地域の人々の取組の共通点から、それに携わる人々の思いを考える。 <p>○ 消防署も消防団も、火事から人々の命、安全、町を守りたいという同じ気持ちで取り組んでいる。</p> <p>[既有事項] 消防署、地域の火事から安全を守るための思い 生活経験</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新潟市の火災発生件数の推移について、グラフから考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・消防団の人に火事を防ぐことを頼ってはいけない。 <p>◎ 火事がなかなか減らないけど、自分にはどんなことができるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資料から分かる事実と、事実から解釈したこととをまとめる。 <p style="text-align: center;">☆つなぐ力①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・17軒も火事になった ・多くの消防車が出動した。 ○ 考えたことを交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の家だけでなく近所に影響が広がる。 ・多くの消防車が出動すると、離れた消防団も準備しなければならなくなってしまう。 ○ 学習問題の結論を考える。 <p style="text-align: center;">☆つなぐ力②</p> <p>○ 消防署や消防団の人たちは、火事から地域を守りたいと思って取り組んでいる。自分も同じように火事から地域の安全を守るために、火事を起こさないようにしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 消防署、消防団の取組を「チャート図」にまとめさせる。 ◆ 火災の発生件数が減少していない事実を提示し、この事実に対しての消防団の方の話聞かせる。 【働き掛け1】 ◆ 新潟市で発生した実際の火事の様子（「対象」）を提示し、分かった事実と、事実について解釈したこととを「チャート図」にまとめさせる。 【働き掛け2】 ◆ 考えたことを交流させた後、学習問題の結論を問う。 【働き掛け3】 ◆ 学習問題が解決した後に、振り返りを書かせる。 【自覚を促す働き掛け】 	6 Q 2 時間

3 内容の関連

